

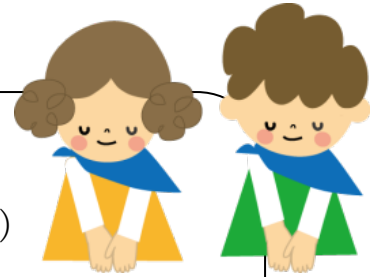


商工会だより

平成29年度 第1号
発行所: 京北商工会

平成29年度の事務局体制です。
どうぞよろしくおねがいたします。

☆事務局長	寸田 寿 (総務課)
☆経営支援員	田中 尚樹 (経営支援課)
☆経営支援員	藤原 昌美 (経営支援課兼総務課)
☆経営支援員	花倉 祥代 (経営支援課)
☆記帳指導員	上野 寿彦 (経営支援課兼総務課)



補助金情報

☆小規模事業者持続化補助金

経営計画に基づいて取り組む販路開拓などの取組を支援します。

☆中小企業知恵の経営ステップアップ事業

経営改善などに繋がる取組を支援します。

☆創業補助金

新たなニーズを興し、雇用の創出を促す創業プランを応援する補助金

☆事業承継補助金

事業承継をチャンスとした、経営革新や事業転換への挑戦を応援する補助金

* ご相談は京北商工会 (852-0348) まで



～ 平成29年度通常総代会のお知らせ ～

☆日時 平成29年5月24日 (水)

午前10時より

☆場所 京北商工会館

総代の皆さまはご出席いただきますよう

よろしくお願いたします。



青年部・女性部より

＜青年部(総会議案書より抜粋)＞

青年部へ入っていることのメリットを最大限に活かそうと、年間5回のセミナーにより経営者として最低限必要な知識の習得を行なうとともに、自社の根本である経営力強化に取り組みました。中部ブロック主張発表大会京都府予選会では中道副部長が2回目の出場をはたし、青年部事業の広報も兼ねた発表をしていただきました。カブトムシドームも継続開催し、大勢の皆様のご協力で実施できましたこと厚くお礼申し上げます。また、昨年同様に「年年歳歳 2016 京都青年団体会議」について、京北商工会青年部から4名が参加され各種団体に協力体制の強化が図られました。経営成長部会では引き続き定期開催しており、その都度によりテーマを設定し課題解決に取り組んでおり、最終的には自社の経営へのフィードバックを目指し開催しております。今後も個社の成長の一助になればと思っております。京北地域での各種イベント、京青連事業についても積極的に参加し、他の青年会との交流を深め、情報交換を図りました。

29年度は自身の事業展開へ向けた勉強会の開催も同様に取り組み、新規事業として北桑田高校との連携による経営者授業を年間数回程度開催し、社会貢献、地域活性、交流に繋げていきます。従来のイベントは見直しながら、新しい意見を積極的に取り込み、部員間の親睦はもとより新規部員の加入推進及び地域活性化に繋がるものにするべく進めてまいりたいと考えております。京青連及び近隣商工会青年部へのイベント等にも積極的に参加し、情報交換を図ります。



＜女性部(総会議案書より抜粋)＞

「笑顔広げる女性部～楽しまなきゃ始まらない～」をスローガンに活動を行い「北山杉の杉木立の素晴らしさを伝え広げる」をもとに春と秋の2回企画し「北山杉・森のC a f e」を桜や紅葉の名所として知られる常照皇寺近くのペンション上桂で、それぞれ2日間限定で開催しました。京北の地域や事業所、特産品の宣伝ができたと考えております。他に、花降る里祭りの協力、砂川学区との交流会参加、青年部カブトムシドームイベント・京北ふるさとまつりでのバザー出店は、他団体との連携で魅力ある京北の町づくりの一助となったのではと思います。好評の「寄せ植え交流会」はたくさんの部員の方で季節の寄せ植えを楽しみました。3B体操教室においても毎月2回開催し、健康な身体づくりに役立てていただいています。

29年度は女性のネットワークを活かして「京北をつなげていくこと」を女性部の使命と考え、各種事業について再検討をし、地域振興事業の取り組みやその他の事業を進めていきたいと考えております。その中でも、継続的なテーマ「北山杉の杉木立の素晴らしさを伝え広げる」事業について、切り口を変えて取り組んでいきます。例年実施している事業において要望の強いものは継続して実施していくとともに、部員の方にとっても歓迎いただける事業を実施していけたらと考えております。その他、京女連事業についても積極的な参加や協力をしていくとともに、部員の方に身になるような研修会や講習会を開催していきたいと考えています。

平成 28 年度農山漁村振興交付金事業

KEIHOKU Style ご報告



◇構成メンバー

京都市京北農林業振興センター
京都市産業政策課
京北商工会
里山デザイン

- ①KEIHOKU Style 展
ホームページ
手法確立とニーズの把握
情報発信のプラットフォーム設置
- ②グリーンツーリズム
コンテンツの「見える化」
- ③農(林)福連携
地域産品を活用した商品開発
(やまぐにの郷との木工製品試作)
(ハゼ蠟を活かした石鹼試作)

①農山漁村における農林水産物の販売・加工支援

- ・ 第 4 回 KEIHOKU Style 展開催 7 日間 (7/27~8/2)
(於 京都マルイ 来場者数 500 人)
- ・ 第 5 回 KEIHOKU Style 展開催 2 日間 (3/12~13)
(於 ホテルグランヴィア京都 ワークショップ体験者数 150 人
サテライトブース(駅前広場)来場者数 1,000 人)

②農山漁村の「食」を活用した観光と連携したグリーンツーリズム

- ・ モニターツアーの実施(参加者数:延 100 人)
うなぎのつかみ取り、ハープリトリート、木工体験、空き家改修ワークショップ
- ・ 冊子「ものづくりの旅」発行

③農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組支援

- ・ 木工製品の試作、展示・ワークショップの開催
- ・ ハゼの活用試行(ハゼ蠟を使用した石鹼の試作、アンケート調査)

<<<29 年度事業計画>>>

- ☆KEIHOKU Style 特選品
KEIHOKU Style 展 → 個人向けの発信
- ☆観光コンテンツの事業化試行 → 「見える化」したコンテンツの企業向けの発信
(今ある商品を観光コンテンツにしていく)
- ☆農(林)福連携 → 商品化、林福連携のモデルづくり

その他の活動

京北旅館業部会

28年度活動をスタート。京北の交流人口が増えますように。

木こり技能大会実行委員会

29年度は商工会が事務局を受けることになりました。

わらしべの家プロジェクト

商工会、青年部有志、会員有志メンバーもメンバーに名を連ね29年度活動を本格開始！

平成29年度労働保険年度更新について

労働保険料の申告納付は、本年は6月1日から7月10日（土日祝は除く）までとなっております。

○電子申請をぜひご利用ください。

○納付には口座振替が便利です。

*平成29年4月から雇用保険率が引き下げとなっております。別添の資料をご確認ください。

お問合せ先 京都労働局総務部労働保険徴収課

〒601-0846 京都市中京区両替町通

御池上ル金吹町451

TEL 075-241-3213 FAX 075-241-3233



労働保険事務組合に加入されている会員様は、事務局よりご案内をいたします。お忘れのないようお願いいたします。

お問い合わせは商工会まで TEL 075-852-0348

編集後記

稲盛和夫氏のフィロソフィーシリーズ(笑)

「小善は大悪に似たり」です。人間関係の基本は、愛情をもって接することにあります。盲目的な愛であったり、溺愛であったりしてはならない。信念もなく迎合する者は、一見愛情深いように見えますが、結果として相手をダメにしていく。これを「小善」といい、表面的な愛情は相手を不幸にする。逆に信念をもって時には厳しく対応する者はけむたいかもしれないけれど、長い目で見れば相手を大きく成長させることになる。これが「大善」という。と稲盛氏のお言葉。真の愛情とは、どうあることが相手にとって本当に良いのかを厳しく見極めること。仕事には必ず人と関係を持つことが必要になるので、商工会は会員さまの本意をしっかりと聞きし信念を持って取り組みたいものです。

S. H

商工会だよりに関するお問い合わせは京北商工会まで

TEL 075-852-0348 FAX 075-852-1173

URL <http://keihoku.sakura.ne.jp/> メール keishoko@skyblue.ocn.ne.jp